

新潟県 公民館月報



昭和50年12月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市一番堀通町・県教育庁社会教育課分室内】
【電話・(新潟) 6111 内線 326】【振替新潟 4094】

発行人 会長 石井耕一
編集人 事務局長 本田 清

【定価】部 50円 年 600円

サ
ケ

サメに襲われた暖かい海
ブリに食われた冷たい海
ペーリング海からオホーツク海
の漁船群の大きな網にもさらわ
れて、三年たった仲間たちは
二十分の一にもへっていました
それでもつれあいとしょにた
まごを腹いっぱい抱いて
稚魚のころの記憶をよみがえら
せながら
いまやとふるさとの川に帰っ
てきました
この川この水こそわたしたちの
いのちなのです

(本)

全国大会 (大津) 終わる



〔開会式風景と円内は特別講話をする古里社会教育局長〕

公民館の義務設置へ

行財政施策の拡充強化をはかれ

きる十一月十二日から三日間第二十四回全国公民館大会が盛岡県大津市で開催された。参加者は総勢二千五百名。本県からは石井耕一会長（農業市長）以下、公民館優良職員として全国表彰を受けた船橋村公民館長水戸部正氏を主として三十名が参加、それぞれ行財政部会を七部会十一分科会場に別かれ活発な討議に加わった。第二日、余休会の結果、別稿のような重要決議を採択し、最後に「振換期の時代と宗教」と題した東大教授菅原一里氏の記念講演を聞いて閉会した。

宣言決議

われわれは、第24回全国公民館大会において公民館が名実ともに現代における地域の社会教育センターとして、充実発展することを期し、生涯学習体制確立の観点から、公民館活動の推進方策と、施設、設備の整備ならびに職員の充実向上をはかるための行財政施策について研究討議した。

その結果、特に緊急かつ重要な次の事項が速やかに実現するよう措置されることを関係当局に強く要望する。

記

1. 公民館を義務設置とし、公民館職員の身分、資格を明確にして常勤専任の公民館主事を必置とするよう、速やかに社会教育法を改正すること。
2. 公民館の施設費補助55億円を絶対に確保し、1館あたりの補助額を大幅に増額するとともに、速やかに定率補助を実現し、起債の増額をはかること。
3. 地方交付税における公民館費の単位費用の算定を合理化し格段にその増額をはかること。
4. 地方自治体における公民館振興諸施策の拡充強化をはかること。
5. 同和教育を推進するために、必要な諸施策を講ずること。

昭和50年11月13日

第24回全国公民館大会参加者一同

吉里局長が特別講話

大会三会場は朝霧を烏巻らす大津市民会館（中央公民館）主会場の舞明けはエレンタ舞臺温暑きくわ旅館では、久れ各ブロック代表による決議文

トーン洋券による君が代斉唱。

全公連会長田村賢作氏が「公民館施設補助五十五億円の金額実現を期すために、現情勢の厳しさを打ちわぶるため相互の力の結集」を訴えた。このあと信例の優良職員表彰では全国四十七名の一人として水戸部正氏（船橋村館長）が受賞に輝く。ほろどおりの祝辞と公民館の歌の歌唱指導で式典を締め、その後、それぞれ分科会に参加。

しぶりに県勢が一當に合し七井会長を中心に懇親を深めた。第二日は全体会に先立ち、文部省新社会教育局長吉里邦夫氏が約二十分間にわたる壇上においてあいさつ「公民館こそ社会教育の現場である。したがってもっと手供のうちから公民館に親しませることを考える必要がある、住民の心のふるさとにしたい。社団法人十八万、プロの宗教家一八〇万人、二千万人以上の信者がいるので日本人は五人に一人以上は神や仏を信じて生きていくはずだが、既成宗教といわれるものには死ぬことは教えるが生きる方法を積極的に教えない。ここに日本の課題もあり、社会教育の役割もある。」とし感銘を留めた。

公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営規程・津・通達「公民館基準の取り扱いについて」

A5版、34ページ

一部一五〇円送料別
公民館関係の諸会議にて
ご利用ください。

申入先

県公民館事務局

公民館のバッジ

全国公民館関係者の共通のシンボルマークとしてデザインされた「公民館バッジ」を頒布します。



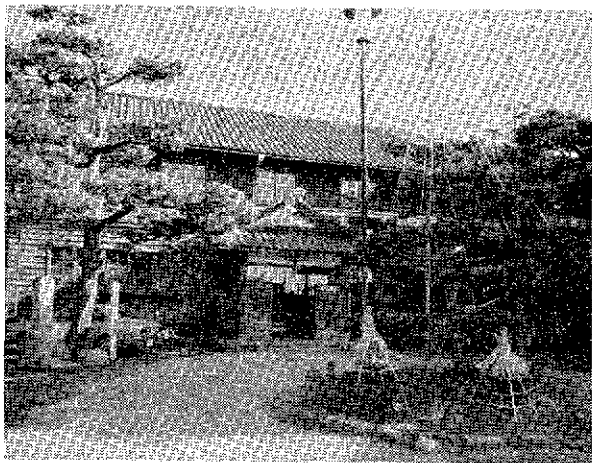
赤銅製、直径一・二センチ、円形。中央シンボルマークと縁取りの銀金はり。止め金はタイ・タック式（ネクタイピンにもなる様式）
一個 六〇〇円（送料共）
申入先 県公民館事務局

水原町公民館に大臣賞

久しぶりに本県から文部大臣賞受賞公民館が出た。大臣賞の受賞規準は、かなり水準がきびしく、本県ではこれまでに牧村公民館、関川村公民館など数館を数えるに過ぎなかった。しかも受賞館は例年新興公民館がほとんどという中で、旧小学校の転用施設というハンディを克服しての目頃の効率的な活動ぶりが認められたことは注目される。以下は荒木館長の受賞の記。

文部大臣表彰を受賞して

水原町公民館長 荒木石三



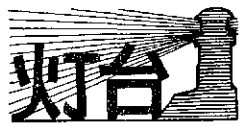
公民館・博物館・図書館の看板が仲よく並ぶ水原町社会教育センター。効率の良い公民館活動ができ実際に利用率も高い

今回水原町公民館が全国優良公民館に選ばれたことは、表彰の理由については、文部大臣表彰を受推測いたします。まず第一に、教育センターとして、博物館・公民館として、図書併設して、総合的社会教育の場としたこと、同一の建物の御尽力によるものと深く感謝いたします。旧水原小学校(会館公民館)

というところは、これを活用する住居側から見て非常に便利なことあり、公民館として、多方面を活動展開し易くなる。次に開館日は、若き日勤を多くと、利用者数の多いことをあげることが出来ると思います。文部省での表彰式後の懇談会である。しかし、これは、職員勤務状況等を考え合わせる、いろいろの問題が存在している。例えば、事業がいかかという意見がだされたので、夜間及び日曜日も多いことが、当館では、三三〇日余となっており、時間勤務の多いこと、十月であり、比較的スムーズに運行を

十一月三日の文化の日、文部省で文部大臣から表彰状を受賞されてから、全国二十一の公民館長が出席に参上、拝聴を受けたのでありますが、この日の拝聴は、文部省の規定内容ですが、総人化健康優良(校)表彰者と公民館の三同だけ体を免れません。ついで、提出書類の中に記録した今年度の主たる事業のうち、町民六休日のホール

新しい企画、実施している。五頭登山・サイクリング・ハイキング大会を通しての楽しい健康ついで、公民館活動に大きな意義と期待をにかけているかを伺い知ることができ、大きな力を感ぜました。「カット写真は永井文相より荒木館長に手渡された表彰状」



ないで住居時代に生れた彼等に考えをもちつづけることが無理



時代と共に青年がわぶの並ぶ前のことである。テレビ、週刊誌、X式、計画あまり考え

時代と共に与えられすぎる青年たちは将来、どんなになる

柏崎海漁研究会を三十年もついで、多くの若者に接し、その人たちが意外に真面目な頭が固いと思ったりする。そして人間の本来の時代と正統をどう変化しないかとも思ったりして、時代によって青年たちが変わるのには、変っているように見える

省で文部大臣から表彰状を受賞されてから、全国二十一の公民館長が出席に参上、拝聴を受けたのでありますが、この日の拝聴は、文部省の規定内容ですが、総人化健康優良(校)表彰者と公民館の三同だけ体を免れません。ついで、提出書類の中に記録した今年度の主たる事業のうち、町民六休日のホール

時代と青年

小 熊 哲 哉

のどろろと心配してあたり、その青年たちも、次の世代の青年たちを心配する時代が来るのだから、心配して心配しないでもないだと思ってみたりする。

青年たちの行動や、考えをどう生かしてやるかを考える方法を探さなければよいの

尺度で許すからであらうか。その自分中心を許して見なせば、行動とか考え方がわかるような気がする。

よく目に余ることを禁じたりするが禁止することにより、それがどう生かしてやるかを考える方法を探さなければよいの

柏崎海漁研究会を三十年もついで、多くの若者に接し、その人たちが意外に真面目な頭が固いと思ったりする。そして人間の本来の時代と正統をどう変化しないかとも思ったりして、時代によって青年たちが変わるのには、変っているように見える

新潟県社会教育講師紹介資料

講師のプロフィール

内容・B5版・32頁

。項目・題名・氏名

。現住所・電話番号・生年月日・最終学歴・社会教育関係の経歴・現在の活動(得意科目を含む)

専門領域等

。実費一冊二五〇円

送料其

◎申込先 新潟市番町通第三分館新潟県社会教育委員会

第24回 全国大会部会記録抄

行財政部会

—都道府県分科会—

- ・参加者
- ・主な研究討議内容

第1分科会における主な討議内容は、年来の法改正についての要望実現化に伴う意見と、その実現化をはかるための努力に関する意見とが出され討議が行われた。また生涯教育の必要性が強く要望されるなかで、公民館施設や事業ならびに職員の研修等のあり方について、極めて熱心に論議がかわされ、公連組織についても各県・ブロックの実状をもとにした検討が加えられた。

○社会教育法改正について

- ・法改正については、前年度の大会討議内容を反省し、公民館自ら足元の点検と文部省の積極的な研究との必要性について、それぞれ再確認のうえ、早期実現について努力したい。

○公民館の施設整備について

- ・近年多く建設される類似施設にかかわる公民館活動の適性化をはかるとともに、公民館機能の多様化と、公民館設置基準等に関する再検討が必要である。

○公民館の事業について

- ・住民が集まる公民館活動の実践と、地域文化センターの拠点としての機能をもつ活動の実践についての内容の充実をはかることが重要である。

○公民館職員の研修について

- ・生涯教育の必要性が強く要望され、公民館活動が重要な役割を果たすため、職員研修の機会の拡大と充実が必要である。

○公連の組織強化について

- ・公民館運営審議委員会の強化と、各公連の事務局体制の強化をはかるとともに、地方公共団体理事者との連携を密にして、組織強化の実現につとめる。

行財政部会

—市町村分科会—

- ・主な研究討議内容

○現下の社会情勢に対応する公民館の施設設備の整備のための行財政施策

- ・公民館充実振興のために、具体的な施設
 - ・活動費の目やすの事例がほしい。
- ・複合施設についての是非について。
- ・社会福祉と社会教育の接点について。
- ・公民館の歴史を反省すると共に将来の展望を考えねばならない。
- ・施設の充実には住民の学習意欲を喚起することになるか。
- ・公民館施設の実態について…半官半民であってよいのか
- ・住民との密着度が高い公民館にするには市町村当局の理事者に積極的な理解を得よう努力しなければならない
- ・広報・相談活動のための設備・備品の充実の必要性。
- ・類似施設のあり方について。

○公民館職員の充実と社会教育職員との連携をはかるための具体策

- ・公民館職員に職階制を取り入れることについての是非。
- ・職員の待遇について(勤務の態様・給与休暇等)
- ・職員の充実策を積極的に進めてほしい。
- ・公民館職員の勤務の実態を調査することが必要でないか
- ・人口規模別による職員数の基準を考えるべきである。
- ・住民とのつながりをより大切にする必要がある。
- ・派遣社会教育主事の待遇改善について。
- ・社会教育法の改正について。
- ・公民館に集まらない住民への配慮が大切である。
- ・類似施設も、社会教育の重要な活動の場として活用できる。

青少年教育部会

—都市分科会—

- ・参加者
- ・主な研究討議内容

○青少年の育成と公民館のあり方

- ・青年サークルや子ども会活動が自主的に育ち、喜んで集まる公民館活動を効果的に進めていく実践的役割を考えたい。
- ・期待される青年のグループ・サークル活動や、意欲的な余暇活動を促進するには、公民館の指導体制の充実がのぞまれる。
- ・環境公害や情報公害などの非文化的な視感内容については、公民館で検討し、企業活動に警告を与え、青少年教育に対する障害を排除させるための住民運動の推進を図る。

○青少年をとりまく環境整備と公民館の学習活動

- ・青少年をとりまくきびしい社会的諸問題に対処できる学習機会を提供すべきである。
- ・青少年の余暇をグループ活動や各種サークル活動にふりむけるためには、単なる企画や呼びかけだけでなく、具体的な指導と助言を与えるべきである。
- ・青少年の学習活動においては、相互のふれあいと交流の機会を多くし、肌で感じる話し合いの場が必要である。

○青少年育成に効果をあげた実践事例

- ・公民館に集まる各種サークルの代表者会を開き、サークル間の閉鎖性を排除し、相互の交流と反省の場に行っている。(兵庫県)
- ・子どもの集団活動に対する理解を深め、インリーダーや青年指導者を養成する講座を開催している。(鳥根県)
- ・市民文化活動として、青年自らの手によって企画し運営する若獅子祭を、サークル活動の発表の場としている。(東京都)
- ・精神障害者青年学級に中学校教職員が奉仕活動を続けている。(滋賀県)

青少年教育部会

—町村分科会—

- ・主な研究討議内容

○青少年の健全な育成のため、公民館の果たす役割

- ・これまで青少年をほとんど対象にしてこなかったことをふくめて、いま公民館のイメージ・チェンジをはかる時期にきている。とくに青少年に対しては、巷にあふれている社会悪に対して、彼らがどのように立ち向い、自己の行動を規制する力を身につけていくかと公民館活動と深くかかわってくる。
- ・ある町では「高校生と語る会」を開き、おとなが指導するのではなく、おとなに対する生徒の批判や地域に対する要望を謙虚に聞き入れ、その対策や解決のための方法を考えて行くという事例もみられる。まさに教育とは対話であるという例である。

○学校、地域関係団体との連携

- ・公民館で行う高校生向けの行事に対して学校側の理解、態度がいまひとつ消滅的である。
- ・教師は多忙であるが、もっと社会教育に協力できる体制を整えることも必要であろう。公民館運営審議会に、教師代表も入っているのだから、行事の計画、展開にも、その声や考え方を反映させてはどうか。

○子ども会等青少年グループの育成と学習活動

- ・現在の公民館の組織と施設では、これら青少年の育成や学習活動をおし進めて行くのには、自ずから限度がある。したがってこれら団体と公民館との守備範囲を明確にする必要がある。とくにボランティアの発掘はなかなか困難である。そこで子ども会等のジュニアリーダーの養成など、下からの積みあげをして将来に期待するといった着実な歩みに待たなければならない。
- ・公民館は、地域の住民とくに青少年の多様な願い・要求に耳を傾けた市の広い親しみやすい活動も忘れてはならない。

全国公民館大会に参加して

組織強化の必要性

相沢 観司



たとえそれがいはらの道であつても夢を追い求める。宣明義援会の大拍手はその決意をこめて江戸の海に響き渡ったのである。(柿崎町公民館長)

生涯をかける仕事

桑原 芳太郎



大会場報によつて各都へへの参加者数を集計してみた。行政部会三十七人、青少年二八八人、回和二三人、以下婦人、高令者、広域、視察団と続々。この数値のまま、全国公民館人の間題意識のあり方を浮き彫りにしているのではないだろうか。そのトップをなす行政部会では、施設設備(複合施設、類似施設の問題も含め)の整備と職員の高令、待遇の改善等が討議されたが、結局は助言者として列席した文部省主任社会教育官(質問と要望が集中して続いた。このことには徐々に改善されつつあるとは言え、学校教育に比べその基礎整備が極めて貧弱で、そのため現場がいかに苦悩しているかを痛切に表わすものだと感じ、われわれ改めて公連の組織強化を身近に切実に考え直し、組織と仕組の力で社会教育の基盤整備を完璧にならなければならないと思つた。

この声よとどけ

松月 怒一郎



行政部会市町村分科会に参加した。一公民館充実振興のために具体的施設、活動費の目やすの

夢と現実の交差

小野 正二



近代的なびわ湖大橋、雄姿の豪華な、ルノエ、レジャー観光の大津で、大乗仏教のメッカ北畠富岡のあたりを仰いで、何とも複雑な感じとし、現実の社会の中で公民館活動のむすかしが一層露く身にしみた。

若い層への期待

中沢 清吾



事例がほいほい「住民との密着度が高い公民館にするには市町村当局の理事者に積極的理解を得るよう努力しなければならない」「職員の充実策を積極的に進めてほしい」等沢山の問題が熱心に討議された。全体会では昭和五十年年度公民館施設費補助五五五円の要求運動について等が研究討議された。一日も早く成功することをお願いしている。文部大臣、公民館振興国会議員懇談会の方々、公民館振興市町村長連盟会の方々から各分科会、特に行政部会に出た聞き関係者の切実な声を直接聞いてもらいたかつた。(清里村公民館長)

兵庫方式に注目

小高 茂夫



私の参加した分科会には、青少年教育都市部会であつたが、各県とも青少年対策についての意見発表大会場は賞賛する価値と近代的な美観を示し、市の中公民館として位置づけられていたのに注目させられた。

が具体的にあり、特に若い層の発言が多くあつて「公民館の指導体制の充実」が強く要望されてい

気迫ある広報に

星 忠嗣

私は広報活動分科会に出席したのであるが、参加者も一〇〇名以上という盛況であつた。各県の話を聞きながらの勉強をしようという力した。日頃忘れがたが「住民は知る権利は持っているが、読む義務はない」これがあるから広報を作るものは、住民にどうしても読ませようとする気迫をも読ませる広報、知ってもらふ広報作成へ努力しなければならぬ。

重い使命感

桑原 栄治



戦後二十年の経ての古服と国力培養のための経済成長政策推進策が人々、国土までも荒廃させるという時流の中にあつて、社会教育の充実が最優先かつ急を要するものと存じます。世間一般では、施設を建てるに足るような多額資金が大勢を占めておるようですが、これは遺憾でないと思つた。

たくさんの方から参加記をいただきました。一部新聞号に載せさせていただきます。加藤部一



金井町公民館

子ども会がリード

六年目 地域活動の核となる

地域の入々の白も会の育成は非常に遅延的なもので、主体的な組織活動の場として地域にあり得たのである。その結果子ども会が公民館も社会の活動が活発な地域に公民館も人々のいるのも熱心に育成会の充実を力に注ぎ、育成会(地域の九パーセント)な変化を反映して、育成会(地域の九パーセント)低調になりがちであったが、その一番大きなものは、子ども会を通して、公民館の活動の話題や課題が、好循環を繰り返しながら活動がなされたことである。地域づくり活動と公民館の中で、地域づくり活動の核となる。



金井町公民館子ども会のサイクリング

おいても適用するということでは、育成会の育成は非常に遅延的なもので、主体的な組織活動の場として地域にあり得たのである。その結果子ども会が公民館も社会の活動が活発な地域に公民館も人々のいるのも熱心に育成会の充実を力に注ぎ、育成会(地域の九パーセント)な変化を反映して、育成会(地域の九パーセント)低調になりがちであったが、その一番大きなものは、子ども会を通して、公民館の活動の話題や課題が、好循環を繰り返しながら活動がなされたことである。地域づくり活動と公民館の中で、地域づくり活動の核となる。

↑ 質問 ↓

婦人会組織の弱体化

↓ 回答 ↓

活動の主體的 分化をうながす

婦人教育に関する婦人団体として、いままで婦人会が中核的な位置を占めている現状の中で、地域婦人会の当面している課題として、団体数と会員の減少傾向がひびく懸念があります。婦人会の問題点としては、

婦人教育に関する婦人団体として、いままで婦人会が中核的な位置を占めている現状の中で、地域婦人会の当面している課題として、団体数と会員の減少傾向がひびく懸念があります。婦人会の問題点としては、

一、活動内容の明確化
二、活動の主体的分化をうながす
三、会員の募集や問題点を明らかにし、活動の分化を促す。

一、活動内容の明確化
二、活動の主体的分化をうながす
三、会員の募集や問題点を明らかにし、活動の分化を促す。

あなたならどうする?

質問
婦人教育に関する婦人団体として、いままで婦人会が中核的な位置を占めている現状の中で、地域婦人会の当面している課題として、団体数と会員の減少傾向がひびく懸念があります。婦人会の問題点としては、

回答
活動の主體的 分化をうながす
一、活動内容の明確化
二、活動の主体的分化をうながす
三、会員の募集や問題点を明らかにし、活動の分化を促す。

のつながりから端を発するものであり、これが本物ではないのだから、育成当初目指したものであろうか。その意味では、前にも述べたように地域に根拠を築き、地域公民館活動の発展の原動力であった地域婦人会や地域青年会、集団遊の楽しさを知らな

のつながりから端を発するものであり、これが本物ではないのだから、育成当初目指したものであろうか。その意味では、前にも述べたように地域に根拠を築き、地域公民館活動の発展の原動力であった地域婦人会や地域青年会、集団遊の楽しさを知らな

のつながりから端を発するものであり、これが本物ではないのだから、育成当初目指したものであろうか。その意味では、前にも述べたように地域に根拠を築き、地域公民館活動の発展の原動力であった地域婦人会や地域青年会、集団遊の楽しさを知らな

28日	等原誠(県教育庁・総務課)	27日	小野塚忠義(新潟市教育委員)	26日	鈴木美(県教育庁・指導課)	25日	石川秀雄(県立図書館)	20日	伊藤俊一(新潟県立図書館)	19日	若月義郎(県社会教育課)	18日	小野正二(中野公民館)	17日	増井徳三郎(県社会教育課)	十一月	県公連来局者
-----	---------------	-----	----------------	-----	---------------	-----	-------------	-----	---------------	-----	--------------	-----	-------------	-----	---------------	-----	--------

昭和四十八年度には、全地域に十五の子ども会が誕生して結果的に、このことが育成会の結成を早めることにもなり、停滞気味の地域公民館活動を活性化させることにもなったのである。



特攻隊メモ ③

眠れぬ英霊のために

浅間 勝衛

目的も希望も抹殺

草創大膽特攻の思想のまが、
 七〇におち、特攻初期を握るす
 る。当事者は死を覚悟してい
 るのではなく、死でしか任務
 を遂行できないのである。V
 また、
 △特攻は必死の覚悟として採用
 された特種的な組織である。V
 と、決死隊と比較し、特攻隊の異
 常性がのべられている。
 いわゆる特攻が制度として採用
 された、作戦手段として実行され
 たのは、十九年十一月から二十年八
 月までであったが、問題は、それが
 統帥の邪道であったことである。

特攻にも犠牲を、沖縄作戦に
 ついて見ると、体当たり特攻機は陸
 軍九八三、陸軍九三二、計一、九
 一五機である。(伊藤正徳註・奏
 効率十三%) 人員の犠牲は、海軍
 二、五四五、陸軍一、八四四名
 で計四、三八九名に達している。
 しかし最後の特攻を指揮した五
 挺艦司令長官宇垣纏中将の△戦線
 へは、命令によって生き
 残った特攻隊員は、命令によって生き
 残った特攻隊員は、命令によって生き
 残った特攻隊員は、命令によって生き

これら痛ましい事実は、特攻
 がいかに美化され、幾土通の軍
 神の遺言が公開されあつても、消
 えることがないであらう。
 特攻が統帥の邪道であったこと
 の理由の一つは、特攻隊への参加
 が、表面を騙るタテマエとして宣
 伝されたが、裏では命令によって生き
 残ったことにある。
 ドストエフスキーも、人間は目
 的と希望を失えば、さびしきであ
 りまらげなものとして、死の記
 が珍しくないと、△死の家の記
 録で書いてある。

優秀16ミリ映画無料貸出し

お問い合わせは毎日新聞社事業部へ

〒100 東京都千代田区一ツ橋 TEL 03 (213) 2696

第14回国際生業映画祭特別賞
宇宙都市への夢
 その1 月への足跡
 カラー 30分
 国際電信電話株式会社

科学ドキュメンタリー
宇宙都市への夢
 その2 ひらげゆく宇宙
 カラー 30分
 国際電信電話株式会社

ごみとの戦い
 カラー 32分
 株式会社 タクマ

第12回日本産業映画大賞
水のある砂漠
 -イラン-
 カラー 36分
 鹿島建設株式会社

文部省選定
トライスター
 カラー 29分
 全日空

ひとに生きる
 カラー 37分
 明治生命保険相互会社

の中心に求めた理想の方が、より重く感じられると書いている。

日付を順に追ってゆくと

参謀本部がサイパンの放棄を決 発進を協議している。この会議に
 定したが、昭和十九年六月二十 四日、南雲忠一中将らがサイパン
 で玉砕したのが同年七月五日であ 隊の被指名者が参加した。席上、
 る。そして、これに先だつ七月一 航空本部代表から、
 日の参謀本部第二班の機雷戦争 研究を始めてもらいたい」とい
 日誌には、
 △……最良の指導ある戦争指導は 遂行し得ず、残るは一徳玉砕
 による敵の戦意放棄に俟つあ るのみ……V
 と、ある。こうした情勢下で、 大平洋戦争の勝敗を決死づけるモ
 メントとなり、日本は前途に勝利 の望みのない防衛作戦を強要され
 るにいたるのである。

大本營が特攻作戦と名づける防 御戦の根本方針をきき、その作 戦要綱に特攻隊の考案、運用、
 特攻隊法などを指示したのは、同 年七月なかば頃とみられる。
 岩本大尉が立川の飛行場で特攻 専用機に改装された九九式双座の試 作機を見たとの、同年八月二日の
 こととなっている。(高木俊朗・ 陸軍特別攻撃隊)
 同機改装の要領はつきりの三三三 に 機首の尖端から三メートルほど
 の金屬細管三本がつきでており、 これが機雷の信管の役目をするこ
 とが、操縦者の意志ではおとせな ければならぬ。

これをみると岩本大尉は激怒した ようだ。彼は銃機操縦と見られる 艦船必殺攻撃法では、当時陸軍の 第一人者と見られていた。彼はこ の攻撃法の完成に身命を賭してい たのだ。その努力がにべもなく真 切られようとしている。岩本の憤 激の線が目にみえるようであ
 る。
 (筆者は元糸魚川市公民館長・岩 柳市在住)

あとがき

△国大参加手記の回収率がよ
 く、一部次号同じにせざるをえな
 くなりました。三十数名の参加者
 のうち半数近くの方がいっし
 ようけんめいに感想文を書き送っ
 ていただきました。感謝。
 ※ ※

来年もささげたい年になり
 そうです。市町村財政がさびしい
 というところは原公運もさびしくな
 るといふことも知れませんが、
 へこたれてはいられません。